



中央検査部だより



2021年9月吉日発行 第76号

～超音波センター紹介～

永井 仁志

6月1日より超音波検査の機能強化を図る目的で超音波センターが開設いたしました。センター化に伴い生理検査室は大きく改装され、患者様や病院職員皆様にとって使いやすい検査室に生まれ変わりました。今回はその中の一部のみ紹介させていただきます。

各超音波検査ブースは個室化され、すべてのブースでベッド対応可能となりました。入院や救急患者の待ち時間の削減に効果があると考えています。一部のブースには酸素および吸引設備も設置しており、超音波ガイド下生検や経食道心エコーなど侵襲的な検査をより安全に行うことが可能になりました。

また検査室に隣接かつ独立して記載室を設置しており、プライバシーに配慮しながら超音波検査のディスカッションを行うことができるようになりました。記載室には各超音波機器の画像が映し出されるディスプレイも設置され、超音波を担当する技師の教育に有効活用されています。

肺機能検査室は受付から離れておりますが、昨今の新型コロナウイルス感染症対策のため外気を導入できる窓がある部屋となっております。肺機能検査はコロナウイルス対策が特に必要な検査であり、患者とスタッフの安全に配慮した配置となっております。

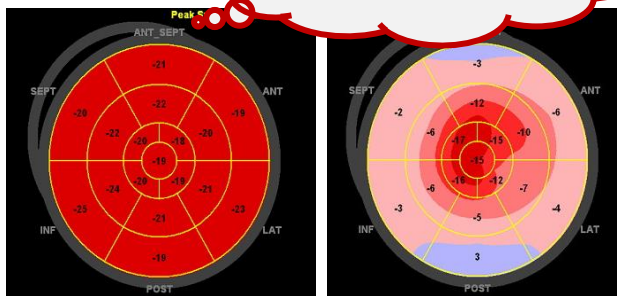
最後になりますが、昨年度より超音波センター開設にむけて多くの職員の皆様にご協力をいただきました。この場を借りて、深く御礼を申し上げます。



スペクトルトラッキング法による Global Longitudinal Strain (GLS)

左室収縮能の指標として Global Longitudinal Strain (GLS) という指標が注目されています。GLS はこれまで左室収縮能指標として用いられていた左室駆出率 (LVEF) よりもより早期に左室収縮能の低下を検出できるとされています。当センターでも、心不全患者や心筋症が疑われる患者、また心毒性のある薬剤を使用される患者において積極的に計測を行っています。レポートにも計測値を記載していますので是非臨床にご活用ください。

GLS 測定可能機器が増えました!



健常者

GLS : -20.5%

心筋症患者(心アミロイドーシス)

GLS : -8.8%

～生理機能検査室・超音波センターMAP～

肺機能・筋電図室



検査室の場所を変更しました。(受付は従来通り心電図室です)

肺機能・筋電図室ともに窓があり、換気のできる環境で検査を行えます。

また、肺機能・筋電図室を壁で分けており、同時に検査が可能です。

超音波センター



以前は肺機能があった場所に新たにエコー室を2つ作りました。

乳腺・甲状腺の穿刺のためにGの部屋には広々としたスペースを確保してあります。



超音波センター



各エコー室にはアルファベットが振り分けられています。
ご案内した部屋への患者さんの移送をお願いします。

心電図室



部屋数を2つから3つに増やしました。また1番の部屋は広めに作られており、ベッド患者の検査も可能となりました。